

## 【重症心身障害児者・医療的ケア児者家庭への支援強化】

### （要請内容）

重症心身障害児者および医療的ケア児者が安心して在宅生活を続けられるよう、また、主たる介護者（多くは母親）の精神的・身体的負担を軽減するため、以下の施策について、さらなる強化と拡充を要請します。

- （１）重症心身障害児者・医療的ケア児者の家庭に対して、サービスの情報が行き届くような広報活動の強化や分かりやすいガイド、相談窓口の充実など、障害福祉サービスの周知徹底をはかること。
- （２）「介護は家庭の問題」という意識を変えるための啓発活動やヘルパー利用への抵抗感を和らげるための地域理解促進、利用事例の共有など、障害福祉サービス利用への心理的・社会的障壁を解消すること。
- （３）主たる介護者（多くは母親）の精神的・身体的負担を軽減するため、レスパイトケアの拡充やピアサポート・カウンセリングの提供、さらに短期入所・通所施設の整備（特に 18 歳以上の重症心身障害者・医療的ケア者が利用可能な施設）を進め、地域間の格差を解消すること。
- （４）障害のあるこども・成人の介護と親の介護が同時に起こるダブルケアに備え、複合的支援制度を構築すること。
- （５）新たなケアラーやヤングケアラーの早期把握と予防的支援を行うため、家族のライフステージに応じた支援体制を整備し、きょうだい児がヤングケアラーとならないよう教育・支援を充実させるとともに、障害児の出生時から子育て支援と福祉支援が切れ目なく連携する仕組みを構築すること。